J-STAGE ジャーナルコンサルティング
ミニセミナー
「オープンアクセス誌にするには：実践編」

2023年1月26日

科学技術振興機構

ジャーナルコンサルティング ミニセミナー

2019年度より 年4回 開催

目的

- ジャーナルコンサルティングを通じて得られた、ジャーナルの質向上に関する基礎的なノウハウの提供

実施内容

- オープンアクセスやCCライセンス などの概要・事例紹介
- DOAJ収録申請の紹介

2022年度も、第1回～第3回は従来どおりの内容にて開催

2022年度 第4回 ミニセミナー

「オープンアクセス誌にするには：実践編」

これまでの内容とは大きく異なり、オープンアクセス誌とするための実践的な手順に焦点をあてたセミナーとして開催します

1．あなたのジャーナルをオープンアクセス誌にするには

2．オープンアクセス誌とするために必要な投稿規程改訂の実践的な手順

3．質疑応答

あなたのジャーナルを
オープンアクセス誌にするには

このセクションでは、
あなたのジャーナルを
オープンアクセス誌にするために
必要な最低限の作業・手順を
順をおって説明していきます

その作業・手順

0. オープンアクセス誌 って、なに？

1. APCを決める
2. CCライセンスを決める
3. 投稿規程を改訂する
4. CCライセンスを表示する

オープンアクセス誌 って、なに？

オープンアクセスの定義

ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティブ（BOAI、2002）

「公衆に開かれたインターネット上において、無料で利用可能であり、閲覧、ダウンロード、コピー、配布、印刷、検索、論文フルテキストへのリンク、インデクシングのためのクローリング、ソフトウェアへデータとして取り込み、その他合法的目的のための利用が（中略）財政的、法的または技術的な障壁なしに誰もが許可されること」

（出典：https://www.budapestopenaccessinitiative.org/boai-10-translations/japanese-translation-1）

科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）利用規約

第２条

（４）「オープンアクセス」とは、インターネット上に論文等を無料公開し、二次的利用の範囲に関するライセンス情報を明記することで、誰もが障壁なくアクセスできることをいいます。

オープンアクセスの種類

① **グリーン**OA（セルフアーカイブ）:
機関リポジトリなどから著者最終稿を無料公開する。多くはライセンス情報なし

② **ゴールド**OA:
オープンアクセス誌から論文を無料公開する。ライセンス情報付き

（あるいは、ハイブリッドOA誌にて論文をOAとして公開することもある）

（発行から一定の期間ののちオープンアクセスとなるジャーナルもある）

ライセンス情報:二次利用の範囲・条件を表す情報

購読誌（従来のモデル）:おもに購読料で出版コストをまかなう

オープンアクセス誌:購読料は無料
おもに論文掲載料（APC）で出版コストをまかなう

オープンアクセスのメリット

- 無料で閲覧できることから、多くの読者にみてもらえる

- ひろく利用される、利用されやすい
  - 二次利用の範囲・条件が明示されているため、二次利用がしやすく、著作権者の意にそわない二次利用が起こりにくい

- 論文の閲覧数、ダウンロード数、被引用数などが増加する
  - 二次利用が増え、論文の流通が促進される

- 二次利用（複製・転載・翻訳など）に関する対応が軽減される

- オープンアクセス義務づけが広がりつつある
  - 公的資金の支援を受けた研究成果に対して、オープンアクセスでの公開義務づけが近年さらに広がっている

J-STAGEにおけるオープンアクセス誌

J-STAGEでは、すべての論文が、その発行と同時に、利用規約に書かれているとおり以下の条件をみたすジャーナルを、オープンアクセス誌としている

インターネット上で無料でアクセスできる　**（無料公開）**

＋

二次利用の範囲・条件が明示されている　**（ライセンス情報）**

エンバーゴのあるジャーナル、認証付きのジャーナルはもちろん、ライセンス情報なく無料公開されているフリーアクセス誌についてもオープンアクセス誌とはしない

（つぎのスライドのDOAJにおける定義とほぼ同一）

DOAJ とは

- DOAJ（Directory of Open Access Journals）は、Infrastructure Services for Open Access（IS4OA）が運営する、オープンアクセス誌のオンライン・ディレクトリ・サービス
- 国際的に認知された基準をみたす、高品質の学術ジャーナルおよびその記事のメタデータを、言語や地域、分野を問わず収録
- DOAJは良質なオープンアクセス誌のホワイトリストとして国内外でひろく認知されている
- J-STAGEにてオープンアクセス誌とすることで、DOAJに申請・収載が可能
- 日本からは78誌が収載、うちJ-STAGE登載誌は50誌

（2022年9月27日時点）

オープンアクセス誌にするには

- すべての論文にライセンス情報を付与したうえで
- ジャーナルの発行と同時に
- 認証なしに無料で公開する

さらに、

- オープンアクセス誌として必要な項目・内容を投稿規程において明示し
- ジャーナルサイトから公開する

以下、具体的な作業・手順について説明していきます

APCを決める

出版コストをどうするか

従来の「購読料モデル」からオープンアクセス誌に転換するには、出版コストをどうまかなうか、財源を検討する必要がある

オープンアクセス誌の大半は、その財源を論文の著者が支払うAPC（Article Processing Charge、論文掲載料）によりまかなっている

オープンアクセス誌に転換するにあたり、多くの場合、このAPCの導入およびその金額を決める必要がある

なお、オープンアクセス化の財源はAPCだけとは限らない。APCのほか、科研費など各種助成金、学会の会費などで、出版コスト（の一部）をまかなうこともある

ジャーナルにAPCを導入する際には

検討すべき事項

- 金額の設定・試算
  - 競合誌との競争力があるか
  - ジャーナルの財政基盤を維持できるか
- 冊子体を（発行している場合）維持するかどうか
  - 冊子体の発行を取り止めることで出版コスト削減になる
- 出版コスト（の一部）を科研費などの各種助成金でまかなう場合、助成終了後の継続性を念頭においた検討が必要

今年度のジャーナルコンサルティングでは、出版・財政モデルの分析、出版方針決定の支援などをふくむ「運営戦略と分析を伴ったOAへの転換」コースを提供しました

CCライセンスを決める

クリエイティブ・コモンズ(CC)ライセンスとは

- **インターネット時代のための新しい著作権ルール**
- 著作権者が「この条件を守りさえすれば、著作権者に許諾を得ることなく著作物を二次利用して構いません」という**意思表示をするためのツール**
- 著作権者は**著作権を保持したまま著作物を自由に流通**させることができ、利用者は**ライセンスの範囲内で複製・転載・翻訳などの二次利用**ができる
- 既存の著作権制度(All Rights Reserved)のなかで著作権者の権利が守られながら、利用者が著作物を自由に扱う領域(Some Rights Reserved)を確保できる

All Rights Reserved　　Some Rights Reserved　　No Rights Reserved

(出典:http://creativecommons.jp/licenses/)

- CCライセンスは、学術雑誌のオープンアクセス化におけるライセンスとして、世界的にデファクト・スタンダードとなっている

CCライセンスの種類

4種類のライセンス要素を組み合わせて、6種類の異なる条件のライセンスを構成

営利目的利用↓ ＼ 改変利用→	許可する	許可するが、同じライセンスを表示すること	許可しない
クリエイティブ・コモンズ・ライセンス	表示 作品のクレジットを表示すること	継承 元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開すること	改変禁止 元の作品を改変しないこと
許可する 表示 作品のクレジットを表示すること	CC BY 表示	CC BY-SA 表示－継承	CC BY-ND 表示－改変禁止
許可しない 非営利 営利目的での利用をしないこと	CC BY-NC 表示－非営利	CC BY-NC-SA 表示－非営利－継承	CC BY-NC-ND 表示－非営利－改変禁止

クリエイティブ・コモンズ作者のクレジットを表記することを求める CC BY をベースとして，非営利（NC），継承（SA），改変禁止（ND）を組み合わせた 6 種類のライセンスが存在する。

（出典：情報管理　2015 vol.58 no.5 p.344.「日本におけるクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの実際」）

CC BY：原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示することを主な条件とし、改変はもちろん、営利目的での二次利用も許可される最も自由度が高いCCライセンス

CC BY-SA：原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、改変した場合には元の作品と同じCCライセンス（このライセンス）で公開することを主な条件に、営利目的での二次利用も許可されるCCライセンス

CC BY-ND：原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ元の作品を改変しないことを主な条件に、営利目的での利用（転載、コピー、共有）が行えるCCライセンス。

CC BY-NC：原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的であることを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンス。

CC BY-NC-SA：原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンス。

CC BY-NC-ND：原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的であり、そして元の作品を改変しないことを主な条件に、作品を自由に再配布できるCCライセンス。

（出典：https://creativecommons.jp/licenses/）

CCライセンスを選定するにあたって

ジャーナルの事情にあったCCライセンスを吟味する

- 著作権収入を得ているか

  NCを含むCCライセンスを付与することにより、営利目的での二次利用（転載など）についてはライセンスの範囲外となり利用者は著作権者に対し事前の許諾が必要となるため、その結果として複製使用料、転載許諾料などを請求することが可能になる

- 著作権管理団体と契約しているか

  NCを含まないCCライセンスを付与することにより、営利目的をふくむ二次利用が著作権者の許諾なしで可能になる。そうなると、著作権処理はほぼ消滅する

- 研究助成機関のCCライセンスの適用方針に適合するか

  たとえば、欧州の研究助成機関が進めているPlan Sは、基本的にCC BYもしくはCC BY-SAでのOA化をもとめている

- 学会メンバーや著者の合意を得られるか

CCライセンスを付与する際のポイント

- CCライセンスの付与にあたって、クリエイティブ・コモンズ（あるいは、クリエイティブ・コモンズ・ジャパン）、また、JSTへの許可申請や届出などは、いっさい不要

  CCライセンスの付与は、そのむね表記する（アイコンを表示する）だけ

- CCライセンスの付与できるのは、著作権者のみ

- 同じジャーナル、あるいは、同じ巻号で、論文ごとに異なるCCライセンスを付与することが可能

  CCライセンスは、コンテンツごとに付与される

- いったん付与したCCライセンスの変更や取り消しは不可

投稿規程を改訂する

投稿規程への明示

オープンアクセス誌であること、および、その詳細について、投稿者および閲覧者に示すため、必要な情報を投稿規程に明示します

そのため、オープンアクセス誌に転換するにあたっては投稿規程の改訂が必要になります

標準投稿規程の利用

JSTでは、現在のジャーナル出版において必要と思われる項目・内容を網羅した「標準投稿規程」を用意しています（英文および和文）

以下、この標準投稿規程においてオープンアクセスにかかわる「Aims & Scope」「著作権とオープンアクセス、CCライセンス」「APC」の項目について、簡単に解説します
（詳細な説明は、つぎのセクションで）

現状の投稿規程にこの文面を（ジャーナルの事情にあわせ修正したうえで）盛り込むことで、オープンアクセス誌に転換するの必要な投稿規程の改訂が達成できます

Aims & Scope

ジャーナルの投稿規程の「Aims & Scope」において、オープンアクセス誌であることを明示する必要があります
（オープンアクセス宣言）

具体的には、

XXXXX誌は、YYYYY学会が発行するオープンアクセス誌である。

といった文章をくわえる

著作権とオープンアクセス、CCライセンス

たとえば、

XXXXX誌は完全オープンアクセスであり、クリエイティブ・コモンズZZZライセンスを使用している。このライセンスは、利用者が本誌に掲載された論文を無償かつ出版者や著者の事前承諾を得ることなく使用、二次利用することを許可するものである。

くわえて、

著者が著作権を保持する場合は出版権設定契約書（LTP: License to publish）、ジャーナルが著作権を取得する場合は著作権譲渡契約書（CTA: Copyright Transfer Agreement）について、記載する

また、どのCCライセンスが付与されるのか、および、そのライセンスの概要を記載する

APC

たとえば、

ジャーナルの出版には、査読の管理、原稿整理、組版、オンラインホスティングなど、多くの費用がかかる。購読料を請求しないジャーナルにおいては、これらの費用をまかなうため、著者（あるいはその代理人）に対してAPC（論文掲載料）の支払いが求められる。

XXXXX誌では、[APCが免除される原稿種別] 以外のすべての論文に対して [APCの価格] の支払いが発生する。採択された論文の著者には、掲載前にAPCの請求書が発行される。

投稿規程の公開

オープンアクセス誌として必要な項目・内容を記載した投稿規程は、ジャーナルのウェブサイトから公開する必要があります

あわせて、編集委員会の名簿、問い合わせ先なども公開が必要です

（DOAJの申請にてもとめられます）

ジャーナルのウェブサイトがない場合、J-STAGEのウェブサイト「この資料について」から公開することも可能です

CCライセンスを表示する

CCライセンスの表示

論文へのCCライセンスの付与において、それを適正に表示・記載する必要があります

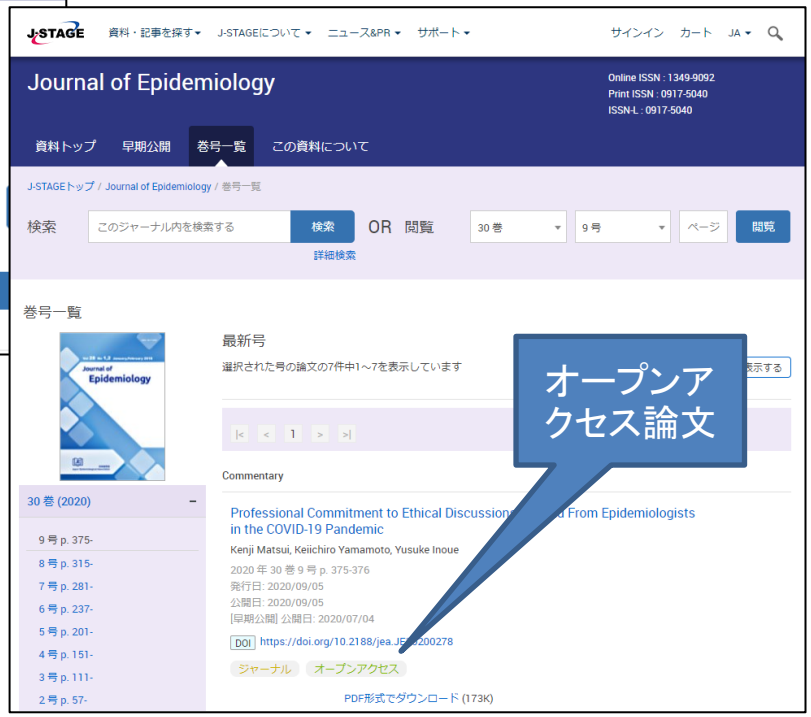
CCライセンスはどこに表示・記載すればよいのか

- 投稿規程（先述）
- J-STAGEのウェブサイト（および、ジャーナルのウェブサイト）
  - 資料トップ、および、巻号一覧（アイコンの表示）
  - それぞれの論文の書誌ページ
- 論文の本文（論文PDF）

  全文XML化しているジャーナルでは、HTML形式の本文においてもCCライセンスの表示が必要です

「オープンアクセス」アイコンの表示

「資料トップ」にて
「オープンアクセス誌」のアイコン



「巻号一覧」にて、OA論文について
「オープンアクセス論文」のアイコン

書誌ページでのCCライセンス表示

共有する

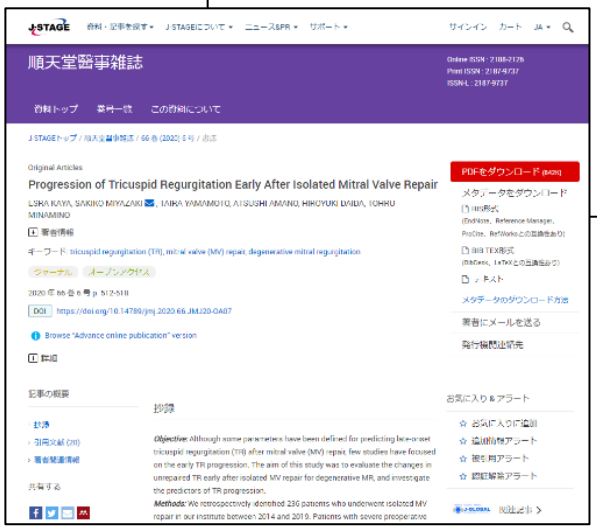
5) Health at a Glance 2011: OECD Indicators. www.oecd.org/els/health-systems/49105858.pdf

もっと見る

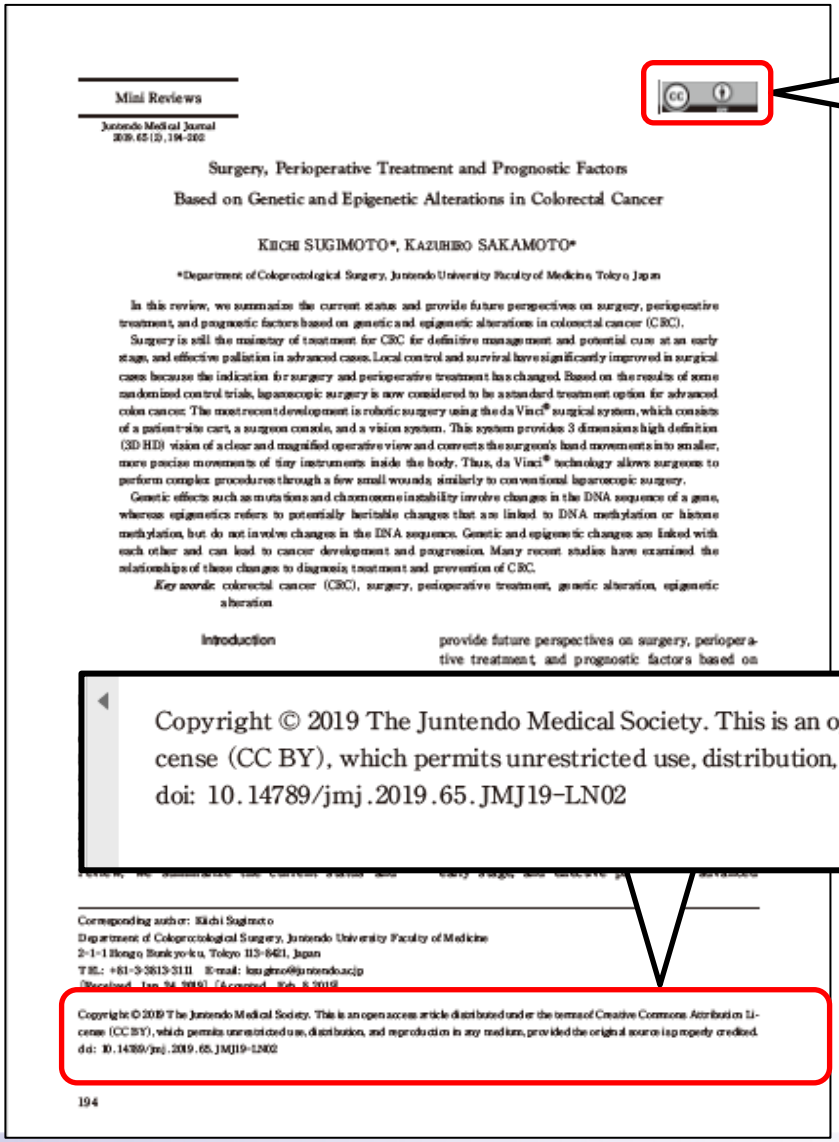
J-GLOBAL 著者関連情報

© 2018 The Juntendo Medical Society. This is an open access article distributed under the terms of Creative Commons Attribution License (CC BY), which permits unrestricted use, distribution, and reproduction in any medium, provided the original source is properly credited.

This article is licensed under a Creative Commons [Attribution 4.0 International] license.
https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/



論文の本文でのCCライセンス表示



Mini Reviews

Juntendo Medical Journal
2019.65(2),194-202

Surgery, Perioperative Treatment and Prognostic Factors
Based on Genetic and Epigenetic Alterations in Colorectal Cancer

Kiichi SUGIMOTO*, Kazuhiro SAKAMOTO*

*Department of Coloproctological Surgery, Juntendo University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan

In this review, we summarize the current status and provide future perspectives on surgery, perioperative treatment, and prognostic factors based on genetic and epigenetic alterations in colorectal cancer (CRC).

Surgery is still the mainstay of treatment for CRC for definitive management and potential cure at an early stage, and effective palliation in advanced cases. Local control and survival have significantly improved in surgical cases because the indication for surgery and perioperative treatment has changed. Based on the results of some randomized control trials, laparoscopic surgery is now considered to be a standard treatment option for advanced colon cancer. The most recent development is robotic surgery using the da Vinci® surgical system, which consists of a patient-side cart, a surgeon console, and a vision system. This system provides 3 dimensions high definition (3D HD) vision of a clear and magnified operative view and converts the surgeon's hand movements into smaller, more precise movements of tiny instruments inside the body. Thus, da Vinci® technology allows surgeons to perform complex procedures through a few small wounds; similarly to conventional laparoscopic surgery.

Genetic effects such as mutations and chromosome instability involve changes in the DNA sequence of a gene, whereas epigenetics refers to potentially heritable changes that are linked to DNA methylation or histone methylation, but do not involve changes in the DNA sequence. Genetic and epigenetic changes are linked with each other and can lead to cancer development and progression. Many recent studies have examined the relationships of these changes to diagnosis, treatment and prevention of CRC.

Key words: colorectal cancer (CRC), surgery, perioperative treatment, genetic alteration, epigenetic aberration

Introduction

provide future perspectives on surgery, perioperative treatment, and prognostic factors based on

Corresponding author: Kiichi Sugimoto
Department of Coloproctological Surgery, Juntendo University Faculty of Medicine
2-1-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8421, Japan
TEL: +81-3-3813-3111 E-mail: ksugimo@juntendo.ac.jp

Copyright © 2019 The Juntendo Medical Society. This is an open access article distributed under the terms of Creative Commons Attribution License (CC BY), which permits unrestricted use, distribution, and reproduction in any medium, provided the original source is properly credited.
doi: 10.14789/jmj.2019.65.JMJ19-LN02

194

Copyright © 2019 The Juntendo Medical Society. This is an open access article distributed under the terms of Creative Commons Attribution License (CC BY), which permits unrestricted use, distribution, and reproduction in any medium, provided the original source is properly credited.
doi: 10.14789/jmj.2019.65.JMJ19-LN02

オープンアクセス誌にする作業・手順

1. APCを決める
2. CCライセンスを決める
3. 投稿規程を改訂する
4. CCライセンスを表示する

以上で、あなたのジャーナルは

オープンアクセス誌になりました

オープンアクセス誌とするために必要な投稿規程改訂の実践的な手順

実際の投稿規程改訂のプロセス

- 現状の投稿規程をチェック
  - OA誌化の要件に関連する項目・内容につき確認

①オープンアクセス宣言（Aims & Scope等）
②著作権とライセンス付与
③CCライセンス
④APC（論文掲載料）

投稿規程の項目チェック

1. Aims & Scope
2. 原稿種別
3. オリジナリティ
4. 編集および査読プロセス
5. 投稿（原稿の言語）
6. 原稿の準備（フォーマット）
7. 出版頻度
8. 掲載料
9. 出版日
10. 掲載順
11. 投稿方法
12. 校閲
13. 著作権
14. 編集委員会の権限

■投稿規程サンプル

Submission Guidelines for ZZZZ

1. ZZZZ journal aims to develop [Subject / Field of research] （relative keyword, relative keyword, relative keyword） through the publication of research and reviews on the following topics: （1） [Relative topics]; and （2） [Relative topics].

2. Papers are categorized into the following four types: （1） Original articles （reports on unique research discoveries）; （2） Reviews （discussions on research questions and objectives to indicate future directions, or summaries of the contents of existing papers to propose new ideas）; （3） Mini reviews （concise summaries of recent topics;
mini reviews include papers awarded with prizes）; and （4） Case and clinical reports （analysis of clinical records useful for dental care practice and development of the field of conservative dentistry）. Reviews and mini reviews are categorized into the following: （1） Papers requested by the editorial board; and （2） Submitted papers.

3. Original articles and case and clinical reports are limited to the following: （1） Papers that have not been published in other journals; （2） Papers that are not presently submitted to another journal; and appropriate.

8. The Society of YYYYY provides a certain amount of support for the listing fees of papers. For cases in which the lead author is not a member of The Society of YYYYY, such support is not provided. For cases in which the lead author is a member, but the co-authors include a nonmember, partial support is provided. The cost to be borne by the authors is determined based on the number of non-members. The costs for figures, tables and photographs, for dispatching and offprints, and for creating the J–STAGE registration data are borne by the authors. In the case of papers requested by the editorial board, such costs are exempted.

9. Date of submission is the date when the submitted manuscript arrives at the secretariat of The Society of YYYYY. Date of acceptance is the date when the reviewers determine that the submitted manuscript can be published.

10. The listing order is the order of acceptance. A certification of publication will be issued upon request.

11. Manuscripts are to be submitted via The Society of YYYYY 's website, e-mail, or postal mail. Manuscripts submitted for publication should be addressed to the

関連項目の診断

①オープンアクセス宣言（Aims & Scope等）
②著作権とライセンス付与
③CCライセンス
④APC（論文掲載料）
　の各項目を標準投稿規程と照らし合わせて診断

■診断結果

セクション	診断
Aims & Scope	
著作権/出版ライセンス/二次利用ポリシー	
CCライセンス	
APC / 出版料	

■診断内容

- 欠如
- 大幅な改善の余地有り
- 細かい改善の余地有り
- OK

投稿規程改訂①（オープンアクセス宣言）

①オープンアクセス宣言（Aims & Scope、著作権等）

1. Aims & Scope

「ZZZZ誌は、YYYYY学会が発行するオープンアクセス誌である。」といった文言を盛り込み、以下のような形にすることを推奨する。

> 1. ZZZZ journal aims to develop [Subject / Field of research] （relative keyword, relative keyword, relative keyword） through the publication of research and reviews on the following topics: （1） [Relative topics]; and （2） [Relative topics].

■Aims & Scopeセクション改訂案

The ZZZZ journal is an international, peer-reviewed and Open Access journal publishing outstanding and informative papers in all fields of [Subject / Field of research]. ZZZZ journal is fully peer-reviewed and upholds the highest standards research and publishing ethics.

ZZZZ publishes Original Papers, Reviews, Mini reviews and Case and clinical reports. The journal particularly welcomes articles that promote the exchange of information between academics and industry. Subject areas include, but are not limited to: [relative keyword, relative keyword, relative keyword].

A broad international audience which includes researchers, engineers and policy makers, have free access to ZZZZ articles that are published continuously online and compiled into six issues per year.

投稿規程改訂②（著作権とライセンス付与）

②著作権とライセンス付与

13. 著作権

「ZZZZ誌は完全オープンアクセスであり、クリエイティブ・コモンズライセンスを使用している。このライセンスは、利用者が本誌に掲載された論文を無償かつ出版者や著者の事前承諾を得ることなく使用、二次利用することを許可するものである。」といった文言を盛り込み、以下のような形にすることを推奨する。

13. The copyrights for articles published in ZZZZ journal belong to The Society of YYYYY.

■著作権セクション改訂案

[ZZZZ journal] is fully Open Access and uses Creative Commons (CC) licenses, which allow users to use, reuse and build upon the material published in the journal without charge or the need to ask prior permission from the publisher or author. More details on the CC licenses are below.

投稿規程改訂②（著作権とライセンス付与）

②著作権とライセンス付与（つづき）

13. 著作権

著作権の保持者が誰か、どのようにライセンスするかについての文言を盛り込み、以下のような形にすることを推奨する。

> 13. The copyrights for articles published in ZZZZ journal belong to The Society of YYYYY.

■著作権セクション改訂案

[著者が著作権を保持する場合]

Authors retain copyright but are required to sign a License to Publish to grant the [The Society of YYYYY] permission to reproduce the work in the journal under a Creative Commons ○○ license, as detailed below.

[ジャーナルが著作権を取得する場合]

Authors are required to assign all copyrights in the work to [The Society of YYYYY], and must sign and send the Copyright Transfer Agreement upon submission of a manuscript. [The Society of YYYYY] publish the work under the Creative Commons○○) 4.0 International license, as detailed below.

出版権設定契約書（LTP: License to publish）、あるいは、著作権譲渡契約書（CTA: Copyright Transfer Agreement）の整備が必要となる。 著作権保持者が誰かによっていずれの書式を用いるのかが決まる

投稿規程改訂②（著作権とライセンス付与）

②著作権とライセンス付与（つづき）

・主な内容は

- 発行機関（学会）が著者から保証を得る内容
- 発行機関が出版権を取得し、許諾される利用・再利用を定義・設定（CCライセンス）

・日本の法律に即した形にカスタマイズできるよう、注意すべきポイントを整理して提供予定

■出版権設定契約書（LTP）テンプレートサンプル

- **EXAMPLE DRAFT ONLY** – License to Publish – **EXAMPLE DRAFT ONLY**

Manuscript Number		Journal Name (the "Journal")	
Article Title (the "Article")			
Authors ("the Author(s)") (Please list all authors on a new sheet if necessary)			

The [Society or Journal Owner Name] (the "Society") will consider publishing the Article in the Journal pursuant to the terms below.
The Authors grant to the Society the right and a worldwide, irrevocable license to:

1) Publish, disseminate, copy, display, store, commercially exploit and otherwise use the Article, including any supplementary material, in all forms and all media (now or at any future time);
2) Create any translations, extracts or derivative works based on the Article and exercise all of the rights set forth in (1) in any such translations, extracts or derivatives; and
3) Sublicense others to do all or any of (1) and (2).

Terms
The Authors warrant that:

(a) The Author signing this Agreement has been authorized by all the Authors to enter into this Agreement.
(b) The Article is original and is not under consideration for publication in any other journal.
(c) The Author(s) are the sole Author(s) and sole owners of the copyright in the Article, and the Article does not infringe on existing copyright or other third-party rights. If material from other sources is included in the Article, then appropriate permissions have been obtained and are attached to this license.
(d) Due care has been taken with the preparation of the Article to ensure its integrity, that the facts presented are true and accurate, and that nothing in the Article is obscene, defamatory or libellous or violates any right of privacy.

This Agreement shall be interpreted and governed in accordance with the laws of Japan.

The Society will license the Article to users under a Creative Commons license. Please mark which license you prefer.

☐ CC BY 4.0 (Attribution 4.0 International) license. This license lets others distribute, remix, tweak, and build upon the Article, even commercially, provided the original source and Authors are credited (see http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)

☐ CC BY-NC-ND 4.0 (Attribution-NonCommercial-NoDerivs 4.0 International) license. This license allows users to non-commercially distribute and reproduce the unmodified Article, provided the original source and Authors are credited (see https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/).

Signed (for and behalf of the Authors) .....
Please print name .....
Address .....
Date .....

投稿規程改訂②（著作権とライセンス付与）

②著作権とライセンス付与（つづき）

LTPと基本的にはほぼ同等内容

・主な内容は

- 発行機関（学会）が著者から保証を得る内容
- 発行機関が著作権を取得する

・日本の法律に即した形にカスタマイズできるよう、注意すべきポイントを整理して提供予定

■著作権譲渡契約書（CTA）テンプレートサンプル

- EXAMPLE DRAFT ONLY – Copyright Transfer Agreement – JOURNAL NAME

Manuscript Number		Journal Name (the "Journal")	
Article Title (the "Article")			
Authors ("the Author(s)") (Please list all authors on a new sheet if necessary)			

The [Society or Journal Owner Name] (the "Society") will consider publishing the Article in the Journal pursuant to the terms below.
The Authors assigns to the Society all copyright and rights therein to the Article, including, but not limited to the right to:

1) Publish, disseminate, copy, display, store, commercially exploit and otherwise use the Article, including any supplementary material, in all forms and all media (now or at any future time);
2) Create any translations, extracts or derivative works based on the Article and exercise all of the rights set forth in (1) in any such translations, extracts or derivatives; and
3) Sublicense others to do all or any of (1) and (2).

Terms

The Authors warrant that:

(a) The Author signing this Agreement has been authorized by all the Authors to enter into this Agreement.
(b) The Article is original and is not under consideration for publication in any other journal.
(c) The Author(s) are the sole Author(s) and sole owners of the copyright in the Article, and the Article does not infringe on existing copyright or other third-party rights. If material from other sources is included in the Article, then appropriate permissions have been obtained and are attached to this Agreement.
(d) Due care has been taken with the preparation of the Article to ensure its integrity, that the facts presented are true and accurate, and that nothing in the Article is obscene, defamatory or libellous or violates any right of privacy.

This Agreement shall be interpreted and governed in accordance with the laws of Japan.

The Society will license the Article to users under a Creative Commons license as detailed below.

CC BY (Attribution) license. This license lets others distribute, remix, tweak, and build upon the Article, even commercially, provided the original source and Authors are credited (see http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)

Signed (for and behalf of the Authors) .....

Please print name .....

Address .....

Date .....

投稿規程改訂③（CCライセンス）

③CCライセンス

13. 著作権

どのCCライセンスが付与されるか、どのような二次利用を認めるのか、といった文言を盛り込み、以下のような形にすることを推奨する。

13. The copyrights for articles published in ZZZZ journal belong to The Society of YYYYY.

■著作権セクション改訂案

[CC BY 4.0 TEXT]

All articles in the journal are Open Access. Authors can choose the following Creative Commons license: CC BY 4.0 (Attribution 4.0 International). This license allows users to share and adapt an article, even commercially, as long as appropriate credit is given .

[CC BY-NC-ND 4.0 TEXT]

All articles in the journal are Open Access. Authors can choose the following Creative Commons license: CC BY-NC-ND 4.0 (Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International). This license allows users to share unmodified articles, non-commercially, as long as appropriate credit is given.

Some funding bodies require articles funded by them to be published under a specific Creative Commons license. Before submitting your work to the journal, check with the relevant funding bodies to ensure that you comply with any mandates.

投稿規程改訂④(APC(論文掲載料))

④APC(論文掲載料)

8. 掲載料

論文の掲載にあたり著者が支払うべき費用がいくらなのか、といった文言を盛り込み、以下のような形にすることを推奨する。

8. The charges for publication are ¥10,800, for full length original articles ,Reviews, Mini reviews and Case and Clinical reports, per articles. ↵

■APC(論文掲載料)改訂案

There are many costs associated with publishing scholarly journals, such as those of managing peer review, copy editing, typesetting and online hosting. To cover these costs in the absence of journal subscriptions, authors (or their representatives) are asked to pay article processing charges (APCs).

The journal charges an APC of [10,800 JPY] for all article types [except XXXX reports, which are free to publish] . Authors of accepted manuscripts will be invoiced for the APC before publication of their manuscript.

※論文掲載料以外の費用(カラーチャージ、校閲料、投稿料等)が発生する場合はその内容について明記。
また、投稿料については、もし発生しなければその旨を記載することを推奨する。

投稿規程（改訂箇所）

■改訂箇所まとめ

Aims & Scope

The ZZZZ journal is an international, peer-reviewed and Open Access journal publishing outstanding and informative papers in all fields of [Subject / Field of research]. ZZZZ journal is fully peer-reviewed and upholds the highest standards research and publishing ethics.

ZZZZ publishes Original Papers, Reviews, Mini reviews and Case and clinical reports. The journal particularly welcomes articles that promote the exchange of information between academics and industry. Subject areas include, but are not limited to: relative keyword, relative keyword, relative keyword.

Published by The Society of YYYYY welcomes submissions from around the world. A broad international audience which includes researchers, engineers and policy makers, have free access to ZZZZ articles that are published continuously online and compiled into one issues per year.

Copyright, Open Access and Fees

[ZZZZ journal] is fully Open Access and uses Creative Commons (CC) licenses, which allow users to use, reuse and build upon the material published in the journal without charge or the need to ask prior permission from the publisher or author. More details on the CC licenses are below.

Authors are required to assign all copyrights in the work to [The Society of YYYYY] , who then publish the work under the Creative Commons CC BY 4.0 International license, as detailed below.

All articles in the journal are Open Access. Authors can choose the following Creative Commons license: CC BY 4.0 (Attribution 4.0 International). This license allows users to share and adapt an article, even commercially, as long as appropriate credit is given.

Some funding bodies require articles funded by them to be published under a specific Creative Commons license. Before submitting your work to the journal, check with the relevant funding bodies to ensure that you comply with any mandates.

投稿規程（改訂箇所）

■改訂箇所まとめ

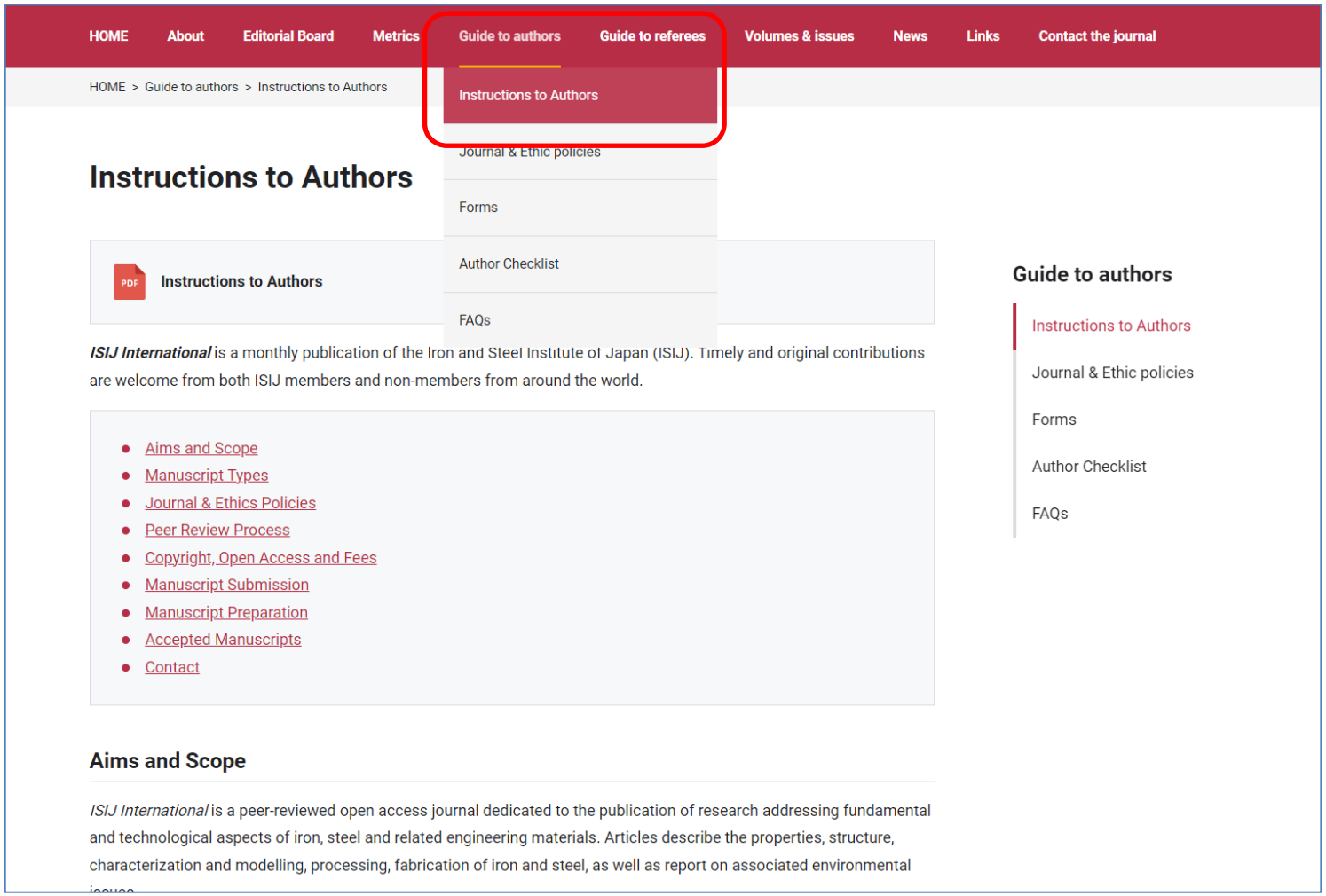
Article Processing Charge

There are many costs associated with publishing scholarly journals, such as those of managing peer review, copy editing, typesetting and online hosting. To cover these costs in the absence of journal subscriptions, authors (or their representatives) are asked to pay article processing charges (APCs).

The journal charges an APC of [10,800 JPY] for all article types [except Clinical reports, which are free to publish] . Authors of accepted manuscripts will be invoiced for the APC before publication of their manuscript.

Web掲載例１

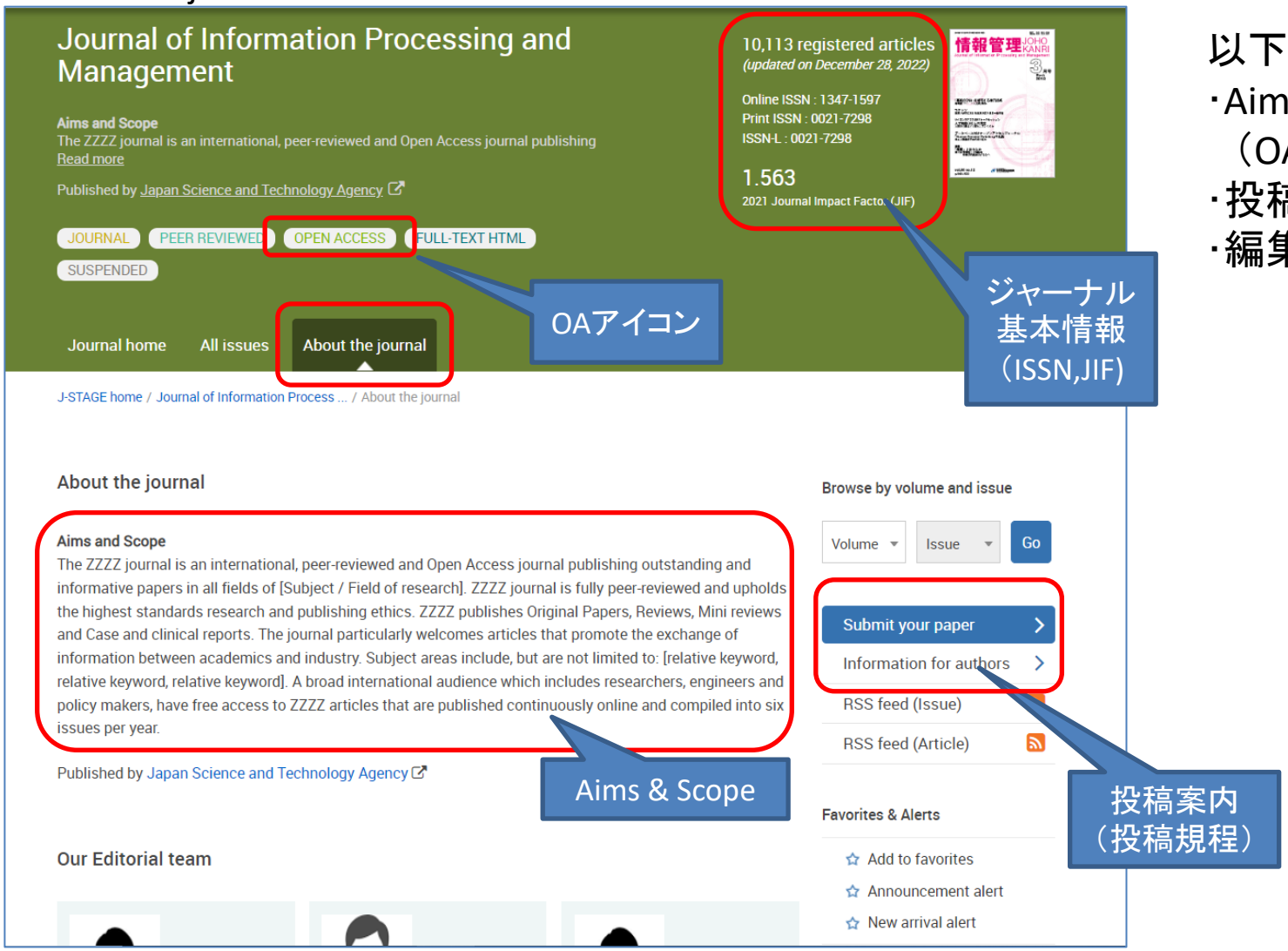
■通常のジャーナルサイトへの掲載例



出典：日本鉄鋼協会「ISIJ International」誌のジャーナルWebサイト　https://isijint.net/guide-to-authors/instruction-to-authors/

Web掲載例2

■About the journalページ



以下を掲載
・Aims & Scope
（OA宣言）
・投稿規程
・編集委員会

Web掲載例2

■About the journalページ（下部）

参考：
J-STAGE News No. 50「サイト編集ツールの活用」

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/J-STAGE_NEWS_NO50.pdf#page=8

投稿規程全体の診断

■投稿規程が標準的に備えておくべき主な項目

・AIMS AND SCOPE

・JOURNAL AND ETHICS POLICIES

・EDITORIAL AND PEER REVIEW PROCESS

・OPEN ACCESS / PUBLICATION MODEL AND CHARGES

・MANUSCRIPT PREPARATION

投稿規程全体の診断

JOURNAL AND ETHICS POLICIES

- Authorship
- Animal/human experimentation incl informed consent
- Originality
- Image integrity
- Preprints
- Scooping
- Reproducing copyrighted material
- Availability of data and materials/Research Data Policy
- Conflicts of interest
- Confidentiality
- Clinical Trials
- Self-archiving (Green Open Access) policy
- Long-term digital archiving

投稿規程全体の診断

EDITORIAL AND PEER REVIEW PROCESS

- Acceptance criteria
- Reviewer suggestions
- Reviewer reports
- Editorial decisions
- Editorial independence
- Editor confidentiality and conflicts of interest
- Appeals and complaints process
- Corrections policy: errata, corrigenda and retractions
- Responding to potential ethical breaches

投稿規程全体の診断

OPEN ACCESS / PUBLICATION MODEL AND CHARGES

- Article Processing Charge / Publication Fees
- Waiver policy
- Copyright / License to Publish / Reuse policy
- (Creative Commons) licenses

投稿規程全体の診断

MANUSCRIPT PREPARATION

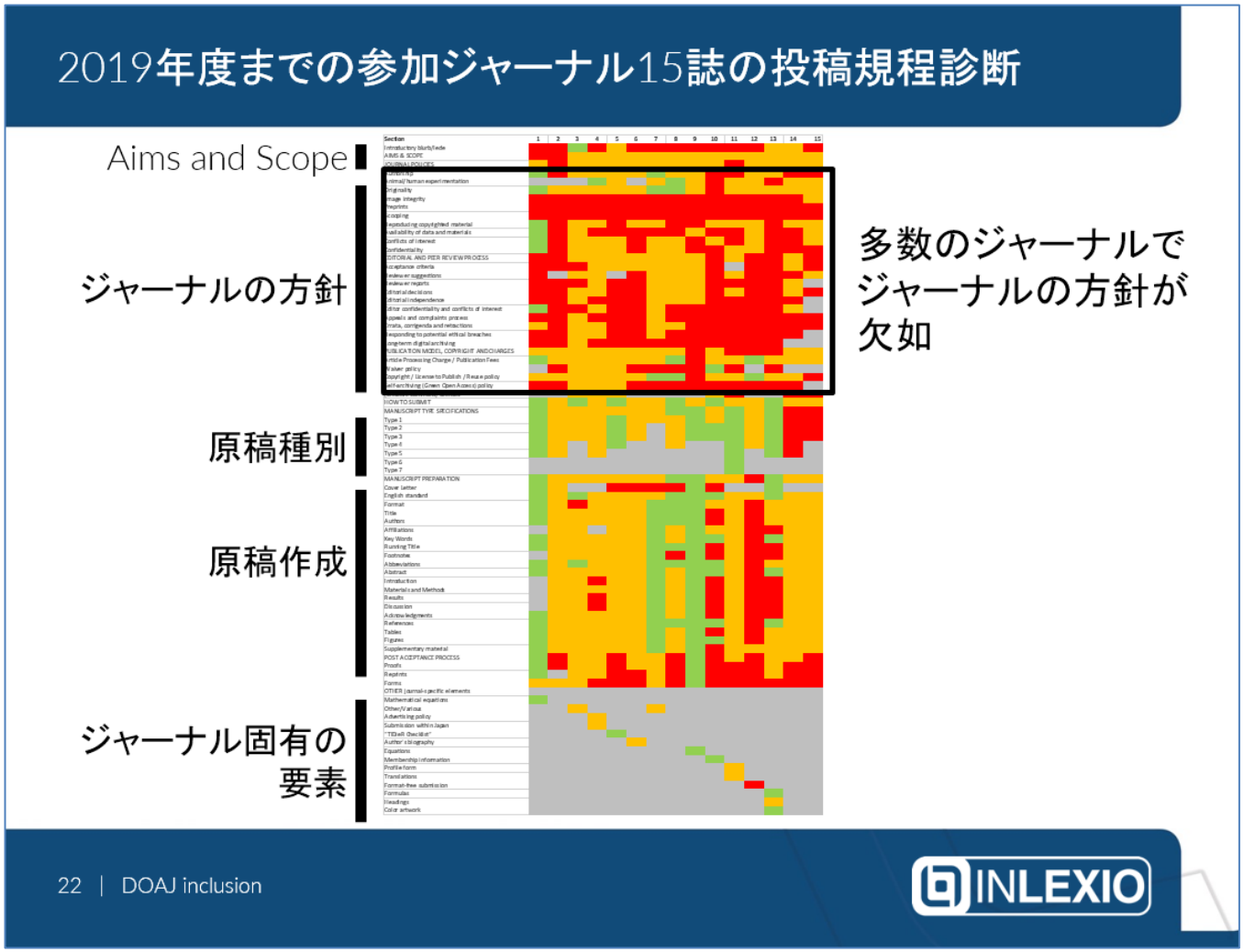
- Cover Letter
- English standard
- Format
- Title
- Authors
- Affiliations
- Key Words
- Running Title
- Footnotes
- Abbreviations
- Abstract
- Introduction
- Materials and Methods
- Results
- Discussion
- Acknowledgments (including funding)
- References
- Tables
- Figures
- Supplementary material

投稿規程全体の診断

Section		Notes	Key
Introductory blurb/lede			Absent
AIMS & SCOPE			Needs major improvement
JOURNAL POLICIES			Needs minor improvement
Authorship			OK
Animal/human experimentation incl informed consent			Not relevant
Originality			
Image integrity			
Preprints			
Scooping			
Reproducing copyrighted material			
Availability of data and materials/Research Data Policy			
Conflicts of interest			
Confidentiality			
Clinical Trials			
Reporting Guidelines			
EDITORIAL AND PEER REVIEW PROCESS			
Acceptance criteria			
Reviewer suggestions			
Reviewer reports			
Editorial decisions			
Editorial independence			
Editor confidentiality and conflicts of interest			
Appeals and complaints process			
Corrections policy: errata, corrigenda and retractions			
Responding to potential ethical breaches			
Long-term digital archiving			
OPEN ACCESS / PUBLICATION MODEL AND CHARGES			
Article Processing Charge / Publication Fees			
Waiver policy			

投稿規程全体の診断

■J-STAGE誌の傾向



出典：2020年度　INLEXIO社ジャーナルコンサルティング グループセミナー資料

投稿規程に必要な項目：プレプリント

近年、さまざまな研究分野において、ジャーナルへの投稿にさきだち、あるいは、投稿と同時に、同一の論文を**プレプリント**（査読前論文）として、プレプリントサーバにてオープンアクセスで公開することが増えている

JSTでも、2022年3月よりプレプリントサーバ **Jxiv**（ジェイカイブ）を運用中　https://jxiv.jst.go.jp/index.php/jxiv

プレプリントとして公開されている論文の投稿を、ジャーナルとして受け付けるか受け付けないか、まずは十分に議論し結論をだすことが必要

そのうえで、投稿規程に〈**プレプリント**〉のセクションを設け、プレプリントとして公開されている論文に対する扱いを明示する必要がある

プレプリント：投稿規程での記載例

〈プレプリントとして公開された原稿の投稿を認めない場合〉

本誌へ投稿される原稿は、いかなる言語においても原稿の一部または全部が未発表・未発行の内容であり、本誌以外の媒体において出版が検討されていないものに限る。本誌では、プレプリントサーバに掲載されたことのある原稿は受け付けられない。

〈プレプリントとして公開された原稿の投稿を認める場合〉

本誌では、投稿前または投稿と並行して、コミュニティに認知されたプレプリントサーバ（JSTの運営するプレプリントサーバ Jxivなど）へ著者が原稿を投稿することを認めている。この方針は、一次研究を記述した原稿のオリジナルな版にのみ適用される。査読者のコメントを受けて修正された原稿、出版のために受理された原稿、ジャーナルに掲載された原稿は、プレプリントサーバに掲載してはならない。原稿がジャーナルへの掲載を承認された場合、著者はプレプリントを更新して、公開されたジャーナル論文へのリンクを含める必要がある。

学術出版における透明性とベストプラクティスの原則

DOAJ、COPE、OASPA、医学編集者世界協会（WAME）の共著で、各団体入会時の審査基準として利用

１．ジャーナル名
一意性があり、他ジャーナルと混同されにくいこと

２．Webサイト
高い倫理性と専門性、セキュリティを有すること

３．出版スケジュール
ジャーナルの出版周期を明記すること

４．アーカイブ
ジャーナルが公開されなくなった場合の保存とバックアップ計画を明記すること
※J-STAGE登載誌はJ-STAGE経由でPorticoにアーカイブされる

５．著作権
著作権方針を著者ガイドラインに明記しWebサイトで公開すること、著作権者を全ての記事に明記すること

６．ライセンス
ライセンス情報をWeb上の著者ガイドラインに明記し全ての記事（PDFおよびHTML）に表示すること。オープンアクセスコンテンツにはオープンライセンスを使用すること。

７．出版倫理と関連する編集方針
出版倫理方針および研究不正防止と発生時の合理的措置をWebサイトに明記すること

８．ピアレビュープロセス
ピアレビュープロセスやポリシーをWebサイトに明記し、全ての論文に出版日を明記すること。

９．アクセス
ジャーナルと記事へのアクセス方法を明記すること

10. 所有権とマネジメント
ジャーナルの所有権者をWebサイトに明記すること

11. アドバイザリー組織
対象分野の専門家からなる編集委員会を有しWebサイトに最新のリストを明記すること

12. 編集体制/連絡体制
編集者氏名や編集事務所の所在地を含む連絡先情報をWebサイトに明記すること

13. 著者費用
原稿提出前に容易にわかるようにWebサイトに明記すること。また費用免除が可能な場合はその情報を明記すること。

14．その他の収入源
収入源をWebサイトに明記すること

15．広告
広告が編集上の意思決定に関連せず、コンテンツと区別されていること

16．ダイレクト・マーケティング
原稿勧誘を含むダイレクト・マーケティング活動が適切に行われ、提供する情報が読者や著者の誤解を招くものでないこと

（出典：https://doaj.org/bestpractice）

オープンアクセス誌にするには（ふりかえり）

- すべての論文にライセンス情報を付与したうえで
- ジャーナルの発行と同時に
- 認証なしに無料で公開する

さらに、

- オープンアクセス誌として必要な項目・内容を投稿規程において明示し
- ジャーナルサイトから公開する

オープンアクセス誌にするには（ふりかえり）

投稿規程の改訂（診断）にあたり、標準投稿規程の提供を希望される場合は、ジャーナルコンサルティングチームまでお知らせください。

※標準投稿規程等のドキュメントの取り扱いにつきましては、当該ジャーナルの改訂にのみご利用いただき、関係者以外への共有やウェブサイトへの公開等はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

◆ ジャーナルコンサルティングに関する問い合わせ

問合せ先：ジャーナルコンサルティングチーム

メールアドレス：jstage-gakkai@jst.go.jp

◆ J-STAGEの操作に関する問い合わせ
（オープンアクセス表示設定、CCライセンス表示設定など）

問合せ先：J-STAGEセンター

メールアドレス：center@jstage.jst.go.jp